

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	両専攻 2年	科目コード	87911204
科目名	理論経済学 Economic Theory				
担当教員	久保田 和男				
単位数(時間数)	選択 前期 2単位 (30時間)【学修単位】	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	資源の枯渇を危惧する声が増え、絶たない中で、今なお、漁場、土壌、河川、森林など私たちの生存のために必要不可欠な諸資源が乱用されている。この乱用が生じる理由を経済学の視点から理解し、最適な管理政策を考察する。				
先修科目					
後修科目					
備考					
	授業項目	時間	内容		
1	環境問題の経済分析	6			
2	(1) 外部不経済と環境問題		市場の失敗について理解する。		
3	(2) 法律や環境基準による規制		直接的な規制による市場の失敗の是正手段について学ぶ。		
4	(3) 環境税と補助金		経済的な手法による市場の失敗の是正手段について学ぶ。		
5	(4) 排出権取引制度		今日的な是正手段について学ぶ。		
6	汚染物質の排出と経済活動	4			
7	(1) 拡散する汚染物質		分解可能な物質の基本モデルについて学ぶ。		
8	(2) 蓄積する汚染物質		分解不可能な物質の基本モデルについて学ぶ。		
9	再生可能資源	6			
10	(1) 静学モデル		利潤極大化モデルについて学ぶ。		
11	(2) 動学モデル		長期的な視点に立ったときの利潤極大化について学ぶ。		
12	(3) 管理政策		今日的な資源管理政策について理解する。		
13	非再生可能資源	6			
14	(1) 静学モデル		成長の限界と資源の不可欠性という考えを理解する。		
15	(2) 動学モデル		枯渇性資源の採掘のための最適なルールを理解する。		
16	(3) 管理政策		完全競争企業と独占企業の採掘ルールの違いを理解する。		
17	資源と経済成長	6	資源の希少性は経済成長への制約となるだろうかという問題を考える。		
18	前期末試験	2			
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	資源問題を経済学の視点から理解し、それを応用して、自らの分析に基づき自分なりの意見を持つこと。				
成績評価	期末試験(50%)・レポートその他(50%)で100%とする。全体の60%以上で(A-1)の達成とする。				
教材	プリントを配布する。 参考書：J.M. コンラッド著/岡村広・中田実訳『資源経済学』岩波書店。				

オフィスアワー

質問などがある場合は、授業の前後に聞いて下さい。